

KYUSHU DESIGN CHARRETTE MIYAZAKI 2025.8.26-29

シャレット (charrette) は仏語で「荷馬車」という意味です。仏の大学生が設計課題の提出日に荷馬車に図面を積んで学校に来る様子から短期間に集中的に行う演習を意味するようになったと言われています。

■プログラムの特徴

①**合宿形式** 設計演習は3泊4日、参加者のグループワークによって実施します。若手講師がチューターとして各班の相談や資料・模型の作り方などの技術的サポートを行います。このシャレットで出会った仲間はその後の人生において切磋琢磨できる貴重な存在になります。

②**地域密着型** 宮崎市では、県営プールと一体的な民間施設の開業が予定されています。敷地内には大学や企業等の集う「ひなたキャンパス」が整備され、本拠点と中心市街地を繋ぐ人の流れを生み出すことが求められます。本演習はこうした状況を踏まえた実践的な検討になります。また、地元の大学生とのグループワークも予定しており、最終日の講評会には地域の方にも参加いただき、今後のまちづくりに参考にさせていただく予定です。(本演習は純粋な設計演習の場で、ここの成果について宮崎市には一切の責任はありません)

③**実務的な講師陣** 各地のまちづくりプロジェクトに携わる風景デザイン研究会メンバーに加え、ランドスケープや建築分野、広場づくりなど、様々な活躍をされているゲスト講師を迎え、実践的な指導を行うメンバーを揃えています。

④**初学者から経験者までを対象** 設計演習は、プログラムに示す現地見学やレクチャー等から構成され、公共空間のデザインを考える際に必要な「コンセプト～プランニング～デザイン～プレゼン」の基礎を体系的に学ぶことができます。講師やチューターが丁寧に指導しますので、初学者でも心配せずに受講を検討してください。



過去の九州デザインシャレットの様子 (現地調査・グループワーク)

九州デザインシャレット 2025 in 宮崎 テーマ

「まち・駅へつなぐストリートのデザイン」

宮崎市では平成17年に大型郊外店が開業し、中心市街地の衰退が危惧されました。中心市街地への居住誘導や企業誘致、駅周辺の再開発、高千穂通りの再整備によるウォークアブルなまちづくりなど、ハード・ソフト両面から取り組み続け、少しずつ賑わいが戻ってきています。そして令和7年4月には錦本町の旧県営球場跡地に、新しい県営プールと一体的に整備された「ひなたメドレータウン」が開業します。敷地内には大学や企業などが集う「ひなたキャンパス」が整備され、学ぶ人・働く人・暮らす人が集う新たな拠点と中心市街地を繋ぐ人の流れを生み出すことが求められています。以上を踏まえ本シャレットでは、宮崎市錦本町を対象として、まち・駅へつなぐストリートをデザインする提案をグループワークで行います。

[開催期間] 8/26 (火) ~ 8/29 (金)

[演習会場] 宮崎市中央公民館 (宮崎市宮崎駅東1丁目2-7)

[対象者] 学生と社会人をあわせて30名程度

※40歳程度以下&プログラム全てに参加できる方

※定員を超える場合は参加者を選定させていただくことがあります

[講習費] 学生 15,000円、社会人 36,000円

※飲食・宿泊代は含まれません。宿泊は各自での手配をお願いします

[募集期間] 6/2 (月) ~ 6/30 (月) 17:00 まで

[参加申込] URL or QR コードからお申込みください

URL : <https://forms.gle/EBhp6PKbdr5iVxXTA>

※氏名や所属他、志望動機 (150字程度) 等についてご回答いただきます

※お申し込みの際に頂いた個人情報は本行事のみに使用いたします

[問い合わせ] info@fukei-design.jp (担当: 原田)

[CPD] 建設コンサルタンツ協会: 33.0単位 造園: 33.0単位

[主催] 風景デザイン研究会 [共催] 宮崎大学地域資源創成学部 [後援] 宮崎県 [協力] 宮崎市まちづくり課



ゲスト講師



吉村 純一

プレイスメディア
ランドスケープアーキテクト



田中 智之

早稲田大学
建築家・建築画家



山下 裕子

ひとネットワーククリエイター
眺めニスト



女鹿 裕介

プレイスメディア
ランドスケープアーキテクト



吉海 雄大

益城町復興まちづくりパートナー
ストチデザイン

宮崎市役所



重吉 龍太郎

都市整備部まちづくり課

風景デザイン 研究会講師



柴田 久

福岡大学
景観まちづくり研究室



星野 裕司

熊本大学
景観デザイン研究室



田中 尚人

熊本大学
地域風土計画研究室



高尾 忠志

地域力創造デザインセンター



石橋 知也

長崎大学
環境計画研究室



増山 晃太

風景工房



尾野 薫

宮崎大学
地域交流デザイン研究室



池田 隆太郎

福岡大学
景観まちづくり研究室



■対象地および演習課題

宮崎市は人口約 40 万人の中核都市で、青い海と空、四季折々の花や緑に彩られ、豊かな自然と温暖な気候風土に恵まれています。その宮崎市の核であり、公共交通の結節点である宮崎駅の西口から県内最大の繁華街である橘通をつなぐ高千穂通り周辺では、駅前広場再整備やグリーンスローモビリティの運行など、まちなかの魅力と回遊性向上につながる取り組みが進められています。また、高千穂通りでは歩行者利便増進道路制度を活用した「居心地がよく歩きたくなるまちづくり」が計画されており、ファッションやグルメなど幅広いジャンルの店舗が並び若草通り・広島通り・あみーろーどをはじめ、まちなかの価値向上が目指されています。

一方、本演習対象地である錦本町は、駅北側の日豊本線沿いに位置しており、令和 7 年 4 月には旧県営球場跡地に、新しい県営プールと一体的に整備された「ひなたメドレータウン」が開業します。敷地内には県営プールのほか、メディカル・飲食モール、MRT 宮崎放送の社屋とともに、サテライトキャンパスとコワーキングスペースを有する「ひなたキャンパス」が整備されます。同敷地には江平自転車歩行者道ならびに日豊本線高架下駐車場が隣接しており、市の新たな拠点となるひなたキャンパスと中心市街地および駅をつなぐ人の流れを生み出すことが求められています。

以上のことから本演習では、周辺市街地や整備後のひなたキャンパスを利用する地元大学生との意見交換も踏まえ、まちや駅へとつなぐ魅力溢れるストリートのデザインについて提案することを課題とします。

■プログラム

	8/26 (火)	8/27 (水)	8/28 (木)	8/29 (金)
9:00	 エスキスの様子	レクチャー (星野)	レクチャー (田中智)	提案模型・プレゼン準備 (グループワーク)
10:00		コンセプトメイキング (グループワーク)	デザインスタディ 計画図・提案模型検討 (グループワーク)	
11:00				
12:00				
	会場集合	昼 食	昼 食	昼 食
13:00	ガイダンス (尾野、宮崎市)	レクチャー (柴田)	レクチャー (吉村)	講師および 地域の関係者による 講評会
14:00	レクチャー (山下、田中尚)			
15:00	現地調査&結果整理 (講師による解説) (大学生を交えた グループワークを予定)	コンセプトメイキング デザインスタディ 対象地計画図検討 (グループワーク)	デザインスタディ 提案模型検討 (グループワーク)	
16:00			講師によるエスキス	
17:00		撤回作業		
18:00	調査結果報告 「空間とアクティビティ」			懇親会 (有志)
19:00	懇親会	講師によるエスキス	デザインスタディ 提案模型検討 (グループワーク)	
20:00				
21:00				